

第73期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。

RIX リックス株式会社

証券コード 7525

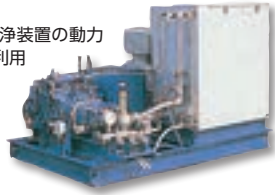
事業紹介

商品

圧力発生機

ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

異種金属板を接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする外部からダストが侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの加硫機に使用



商社機能

製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、BGA等)の製造工程に使用されるフラックスを除去し、純水にて精密仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設備などに水や研磨剤などを供給する回転継手



NC高圧洗浄機(ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高圧水を利用した部品の深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンターでクーラント液をスピンドルから噴射する用途に使用する回転継手



メーカー機能

営業区分

リックスはお客様のニーズに迅速・的確に対応できる顧客密着型の「メーカー商社」という業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他



ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第73期中間期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第73期中間報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦賢治

課題解決型の「メーカー商社として」世界の産業界に貢献します。

Q 当中間期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は10.7%増の198億4700万円、営業利益は24.6%増の11億9300万円、経常利益は21.3%増の13億8000万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は25.5%増の8億6700万円となりました。

当中間期の世界経済は、米国が穏やかな景気拡大を継続するものの、米国と中国が互いに追加関税を課すなどした貿易摩擦が深刻化しており、これまで中国経済拡大の恩恵を受け堅実な成長を見せていた新興国への影響が懸念されています。一方、日本経済は、今夏に相次いだ自然災害に見舞われながらも緩やかに拡大を続

けました。但し世界経済と同様に、中国市場に対する米中貿易摩擦の影響は不安視されています。

このような経済環境の中、当社グループでは当期から新たに中期3か年計画「戦略ビジョン2020」に基づく施策に取り組み、順調なスタートを切ることができました。

Q 当中間期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 紙パルプ業界向けが減収となったものの、そのほかすべてのセグメントにおいて増収を達成しました。

鉄鋼業界向けでは、高炉設備装置や製鋼副資材、圧延・鋼片設備部品の補修、自社継手製品などの受注で

売上増に貢献しました。この結果、売上高は63億14百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

自動車業界向けでは、自動車部品メーカー向けで、検査工程における残渣測定装置や自動素材供給装置、洗浄装置に関する引合いが強かったほか、工作機械業界向けの自社継手製品も好調を維持し、売上増に寄与しました。この結果、売上高は50億73百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、ウエハー製造工場の改造工事、半導体後工程洗浄装置の引合いが強かったほか、シール類の販売が伸長、自社継手製品の販売も好調を維持し、売上増に繋がりました。この結果、売上高は20億50百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、断熱板の減少は続くものの、タイヤ加硫機用バルブの受注は好調で、ポンプ類の販売も伸長し、売上増に貢献しました。この結果、売上高は15億14百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

高機能材業界向けでは、化学メーカー向け動力減速

装置を受注したほか、シール部品、フィルタなどの消耗品が堅調のため、前年同期の実績を上回る推移となりました。この結果、売上高は7億60百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

環境業界向けでは、エネルギー産業設備向け集塵機や廃棄物処理施設用真空ポンプを受注したほか、リサイクル設備向けのフィルタ、下水施設向けの油圧部品などの販売が伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。この結果、売上高は9億68百万円(前年同期比31.4%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、大型設備案件が乏しく、シール部品の販売が伸びたものの、ポンプ類の落ち込みは回復に至らず、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、売上高は3億72百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

Q 下半期の展望などについてお聞かせください。

A 「戦略ビジョン2020」で掲げる経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

当社グループでは現在、2020年度(2021年3月期)を最終年度とする中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を推進しております(詳細は「第73期中間報告書」P7ご参照)。当期はその初年度にあたりますが、この中間期でまずは増収増益という順調なスタートを切れたことを嬉しく思います。また通期の連結業績見通しとしては、売上高396億円(前年同期比3.1%増)、営業利益24億円(同4.9%増)、経常利益25億70百万円(同4.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益17億円(同0.8%増)を計画しております。

当中期3ヵ年計画で掲げるビジョンとして、リックグループは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発

を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指してまいります。

Q 株主還元状況など株主様へのメッセージをお願いします。

A 1株当たり25円の間配当を実施させていただきました。

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっております。

当中間期末では1株当たり25円の間配当を実施させていただきました。なお当期末では1株当たり25円の配当を予定し、これにより年間配当金は前年と同額の1株当たり50円となる見込みです。

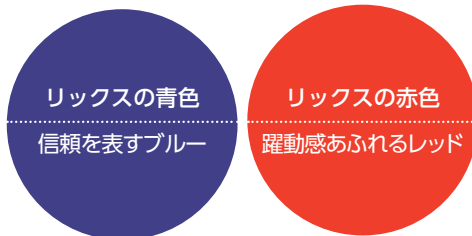
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

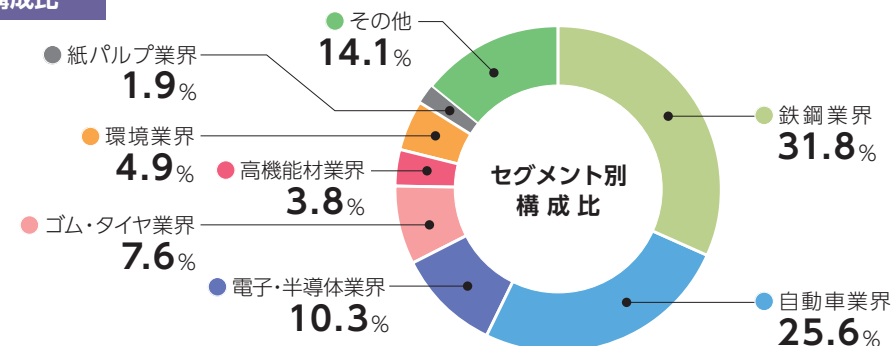
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期末 (平成30年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成30年9月30日現在)	科目	前期末 (平成30年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成30年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	21,494	21,400	流動負債	12,992	12,520
固定資産	6,960	7,052	固定負債	1,327	1,302
有形固定資産	2,925	3,076	負債合計	14,319	13,822
無形固定資産	136	127	純資産の部		
投資その他の資産	3,898	3,848	株主資本	12,895	13,492
資産合計	28,455	28,453	資本金	827	827
			資本剰余金	1,057	1,057
			利益剰余金	11,417	12,014
			自己株式	△407	△407
			その他の包括利益累計額	1,018	918
			非支配株主持分	222	220
			純資産合計	14,135	14,630
			負債・純資産合計	28,455	28,453

注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等の適用

「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

連結損益計算書 (単位:百万円)

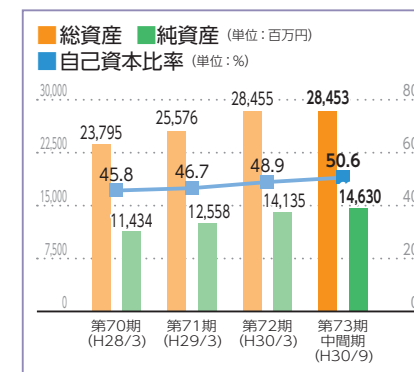
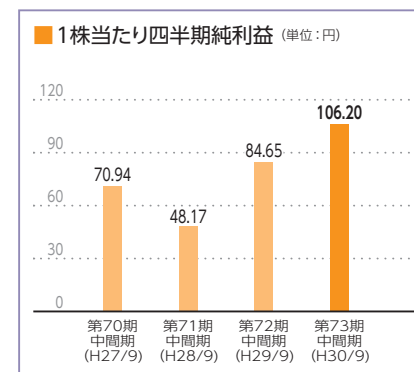
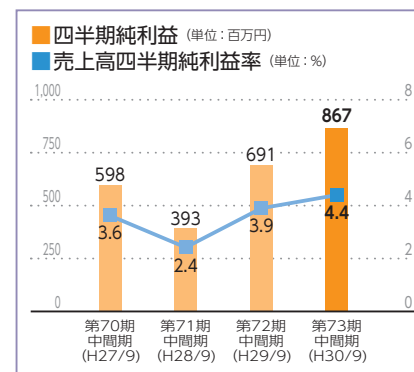
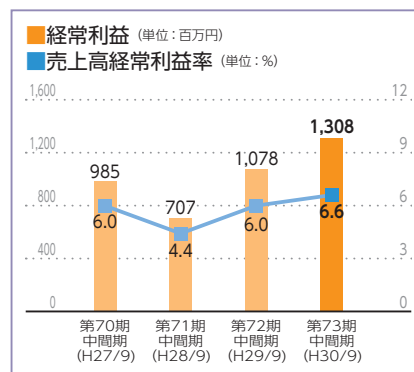
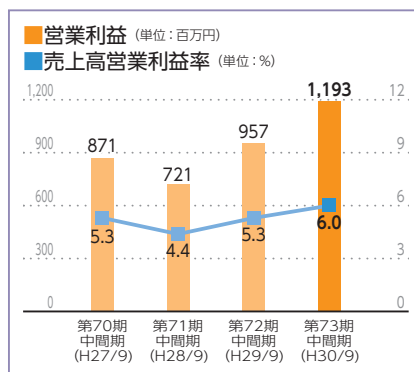
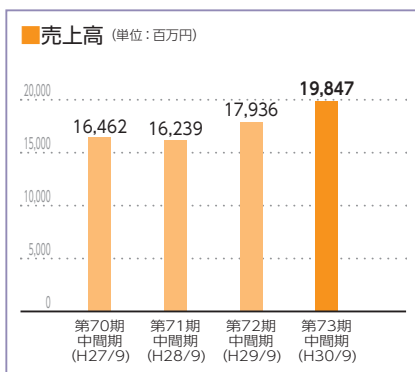
科目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)
売上高	17,936	19,847
売上原価	13,985	15,403
売上総利益	3,950	4,444
販売費及び一般管理費	2,992	3,250
営業利益	957	1,193
営業外収益	128	120
営業外費用	6	5
経常利益	1,078	1,308
特別利益	1	2
特別損失	10	3
税金等調整前四半期純利益	1,069	1,307
法人税等	372	428
四半期純利益	697	879
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	691	867

連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)
四半期純利益	697	879
その他の包括利益	199	△112
その他有価証券評価差額金	209	△73
為替換算調整勘定	△6	△34
退職給付に係る調整額	△3	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
四半期包括利益	897	766
(内 訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	878	767
非支配株主に係る四半期包括利益	18	△0

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	47	492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー	317	△281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	184	△109
現金及び現金同等物の期首残高	3,209	3,403
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,396	3,293



※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の値を表示しております。

当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

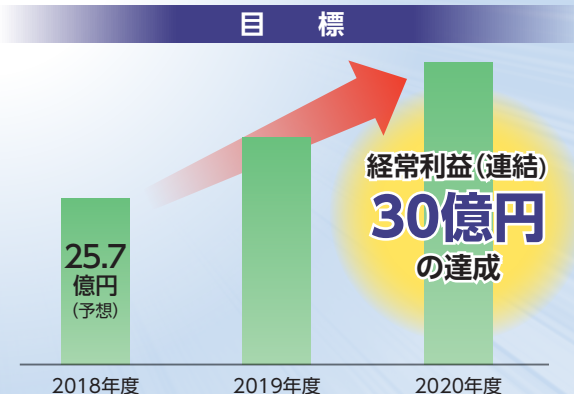
当社グループは、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

戦略ビジョン2020

2018年度～2020年度

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指します。



方針

1. メーカー商社のビジネスモデルの更なる進化

- ① 開発機能の強化(製品、商品、市場)
- ② 顧客接点でのPDCAのスピードUP
- ③ メンテナンス機能・品質保証機能の強化

2. グローバル展開の加速

- ① 自社・ブランド商品の世界販売加速
- ② グローバルニッチトップ商品の開発強化
- ③ 中国・北米・欧州の事業強化

3. リックスグループとしての協業強化

- ① グループにて戦略の統一性
- ② 事業機能集約による最適化・オンリーワン化
- ③ 統括機能の強化(各社GNTを目指す)

4. 人と組織の能力向上

- ① 人事・教育制度の根本的な見直し
- ② 営業支援システムの刷新
- ③ CSR強化

WOO JEON TRADING CO., LTD.(株式会社宇田成業)(韓国)をグループ会社化しました。

会社名	WOO JEON TRADING CO., LTD. (株式会社宇田成業)
所在地	ソウル特別市江南区テヘラン路 311,2003
設立	2017年12月
営業品目	産業機械、試験機械、建設設備の販売

2017年12月29日よりWOO JEON TRADING CO., LTD.がリックスグループ会社となりました。

WOO JEON TRADING CO., LTDは、韓国のソウル特別市に本社をおいて韓国国内で産業機械、試験機械、建設設備などの販売を行う商社であります。

引き続き、韓国国内でリックスグループ製品を始めとした弊社取扱い製品の販売、サービスの展開、また、優れた韓国製品を日本や他国へ紹介してまいります。



PT.RIX ORIENT INDONESIA(インドネシア)を新設しました。

会社名	PT.RIX ORIENT INDONESIA
所在地	Ruko Gading Bukit Indah Blok B. No.19 Kelapa Gading Jakarta 14240
設立	2018年3月
営業品目	リックスグループ製品及び取扱い商品全般

2018年3月にインドネシア共和国において販売子会社PT.RIX ORIENT INDONESIAを設立し、同年6月に操業を開始いたしました。

PT.RIX ORIENT INDONESIAはインドネシアの首都ジャカルタに本社をおき、お客様の近くで営業活動を行い、インドネシアに進出している日系・外資系メーカーと連携して、自社ブランド製品の販売網を拡大してまいります。



▶ 海外ネットワーク (平成30年10月1日現在)



▶ 事業所 (平成30年10月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、事業開発本部、海外事業本部
営業本部	■営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、三河営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、倉敷営業所、広島営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■生産本部福岡事業所
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 ダンフォースGr・アクア膜Gr



▶ 会社概要 (平成30年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 389名(連結613名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

▶ 取締役および監査等委員である取締役 (平成30年9月30日現在)

代表取締役社長 松浦 賢治	取締役 伊佐 清人
専務取締役 柿森 英明	取締役 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役 (常勤監査等委員) 坂本 克彦
常務取締役 苅田 透	取締役 (監査等委員) 小西 正純(*)
常務取締役 芹川 康介	取締役 (監査等委員) 武藤 靖(*)
取締役 橋本 忠	取締役 (監査等委員) 植松 功(*)
取締役 安井 卓	
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

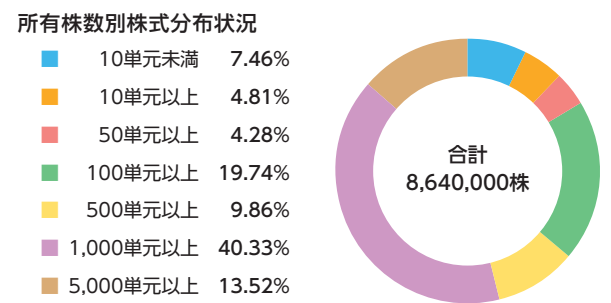
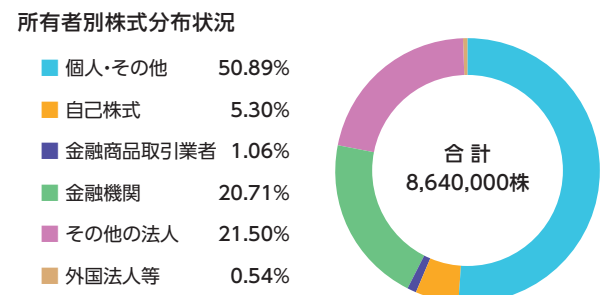
▶ 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 5,776名
- 大株主(上位10名)

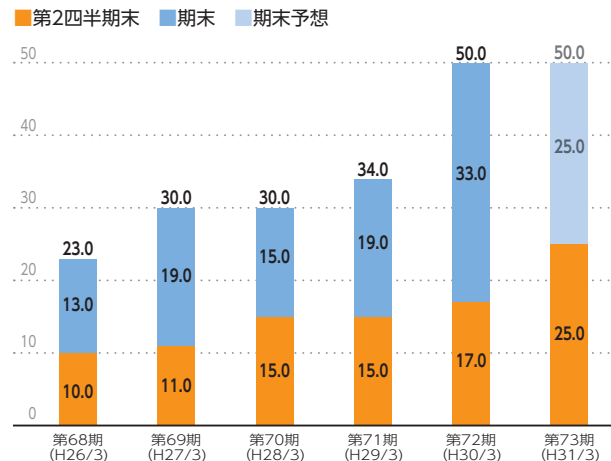
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
リック取引先持株会	475	5.81
安井玄一郎	417	5.10
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リック従業員持株会	243	2.98
安井龍之助	225	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	189	2.31
園田和佳子	172	2.11
山田貴広	166	2.04
株式会社三菱UFJ銀行	152	1.86

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式457千株を保有しております。

▶ 株式分布状況 (平成30年9月30日現在)



▶ 1株当たり配当金の推移 (単位:円)



株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 



RIX リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

